

第26回 関川流域委員会

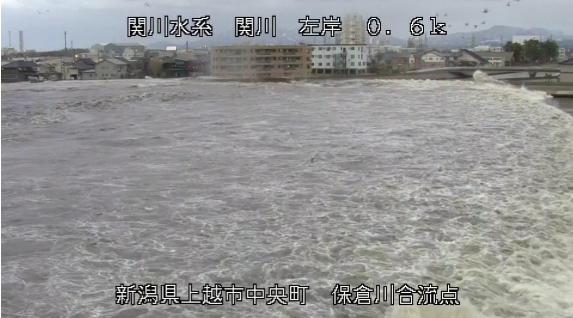
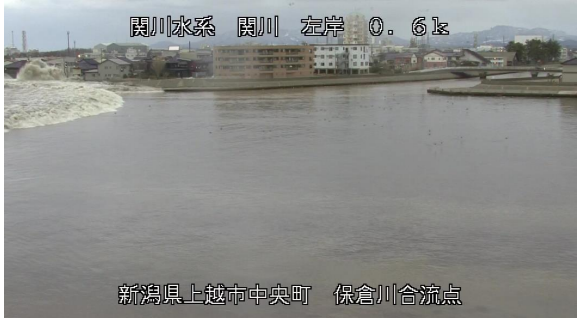
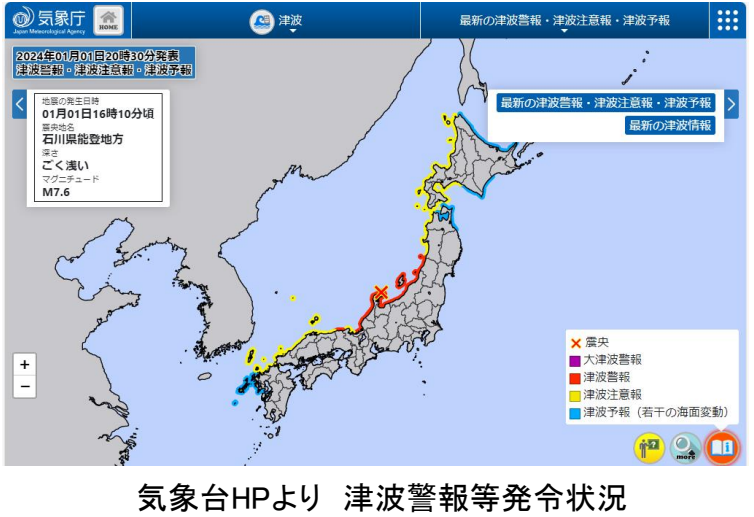
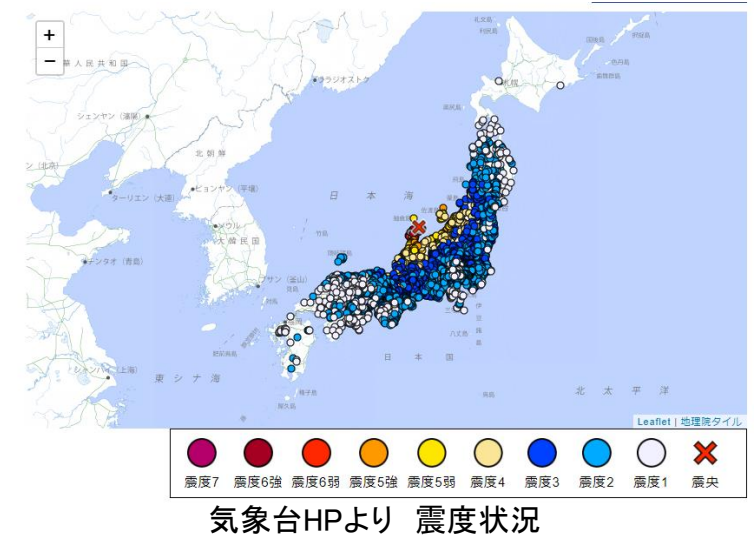
令和6年能登半島地震の現地状況

令和6年7月3日

北陸地方整備局 高田河川国道事務所

令和6年能登半島地震の概要

- ◆ 発生時刻：1月1日16時10分
- ◆ マグニチュード：7.6（暫定値）
- ◆ 発生場所：石川県能登地方（輪島の東北東30km付近）深さ16km（暫定値）
- ◆ 震度：【最大震度7】石川県の志賀町（しかまち）で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測



1月1日 16時35分頃 関川・保倉川合流点付近 津波遡上状況

日時	事務所状況	状況	備考
R6.1.1 16:10	警戒体制発令		職員非常参集
R6.1.1 16:22		津波警報発表	
R6.1.1 21:35	開始	地震時巡視（1次点検）	津波警報発令中のため 関川春日山橋より上流のみ
R6.1.1 23:50	終了	地震時巡視（1次点検）	
R6.1.2 08:30	開始	地震時巡視（2次点検）	新潟県全域
R6.1.2 10:00		津波注意報解除	
R6.1.2 13:56	終了	地震時巡視（2次点検）	関川・保倉川全川で終了 河口部で異常あり



関川 2次点検 状況写真
（正善寺川合流点付近）



関川 2次点検 状況写真
（沖側導流堤）



関川 職員点検及び周辺住民
聞き取り状況写真
（港町第2排水樋管付近）

令和6年能登半島地震 河川管理施設の被災状況

- ◆ 令和6年能登半島地震およびその後発生した津波により、関川河口右岸0.4k付近において堤防の損傷、高水敷保護工でコンクリート目地の開きが発生しましたが、堤防は1月3日に、高水敷保護高は1月6日に応急復旧が完了しました。引き続き、早急に本復旧を進めます。
- ◆ また、右岸1.8k付近春日新田地内の坂路および高水敷管理用通路に亀裂が発生しましたが、こちらは1月9日に本復旧が完了しました。なお、亀裂発見後は侵入防止措置を実施しておりましたが現在は解除しています。



関川右岸0.4k付近



コンクリート目地の開き 及び 堤防損傷状況

関川右岸1.8k付近



堤防坂路および管理用通路 被災状況

1月9日本復旧完了



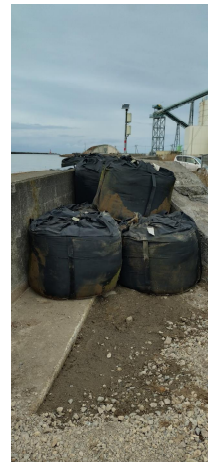
応急復旧作業状況



1月6日応急復旧完了



1月3日応急復旧完了



関川・保倉川合流点付近の津波遡上状況（監視カメラ動画）

津波到達前 R6.1.1 16:35:20頃



津波到達時 R6.1.1 16:35:35頃



関川・保倉川合流点付近の津波遡上状況（監視カメラ動画）

津波到達時 R6.1.1 16:35:45頃

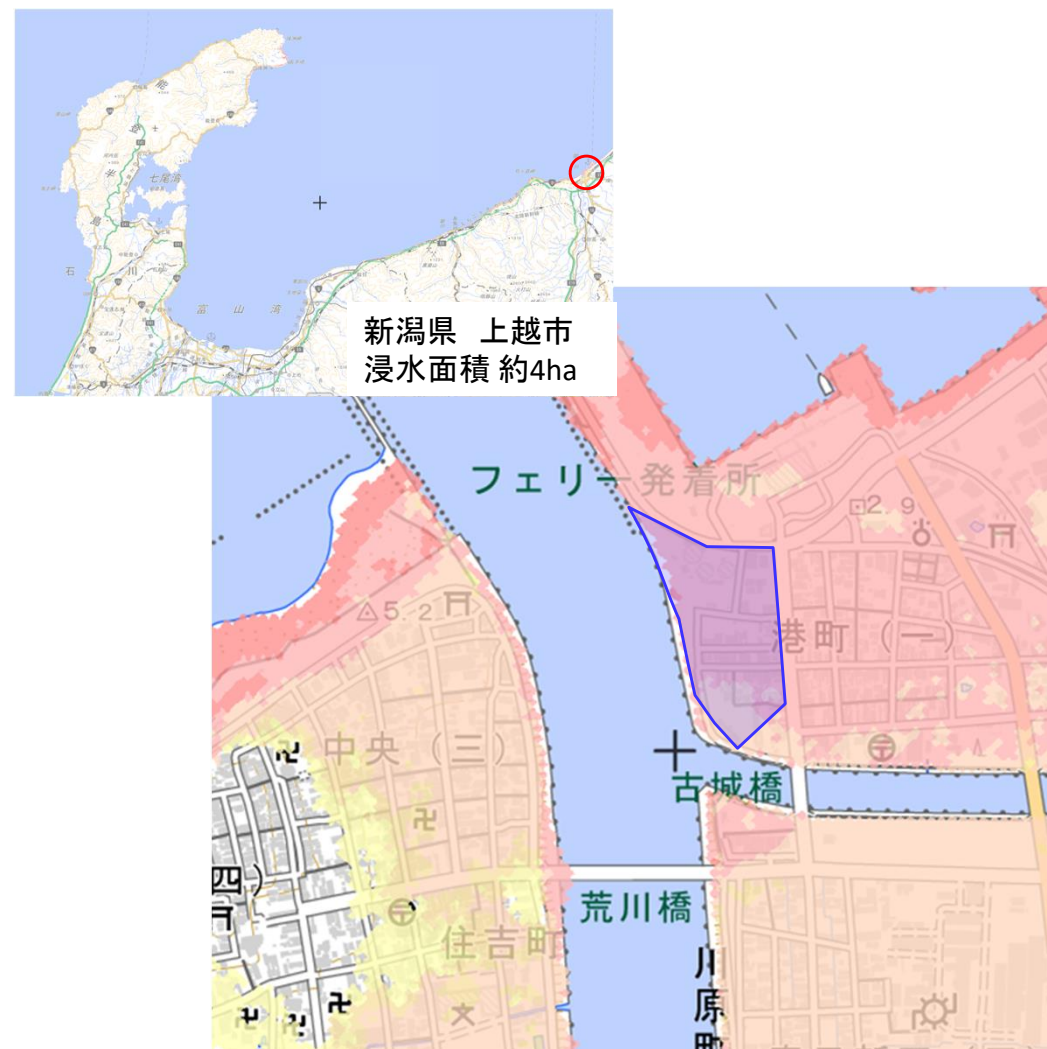


津波到達時 R6.1.1 16:35:50頃



能登半島地震による津波の遡上と浸水被害状況

- 能登半島地震発生後に関川・保倉川において津波による越水範囲、浸水範囲について現地調査を実施。
- 津波の遡上範囲は、津波痕跡調査や河川監視カメラの情報から、関川では河口から5.0k、保倉川では関川合流部より上流側に1.6kまでは津波遡上があったことを確認。
- 関川河口右岸では津波が堤防を越水し、浸水面積約4ha、床上1戸、床下14戸の浸水被害が発生（上越市調査）。



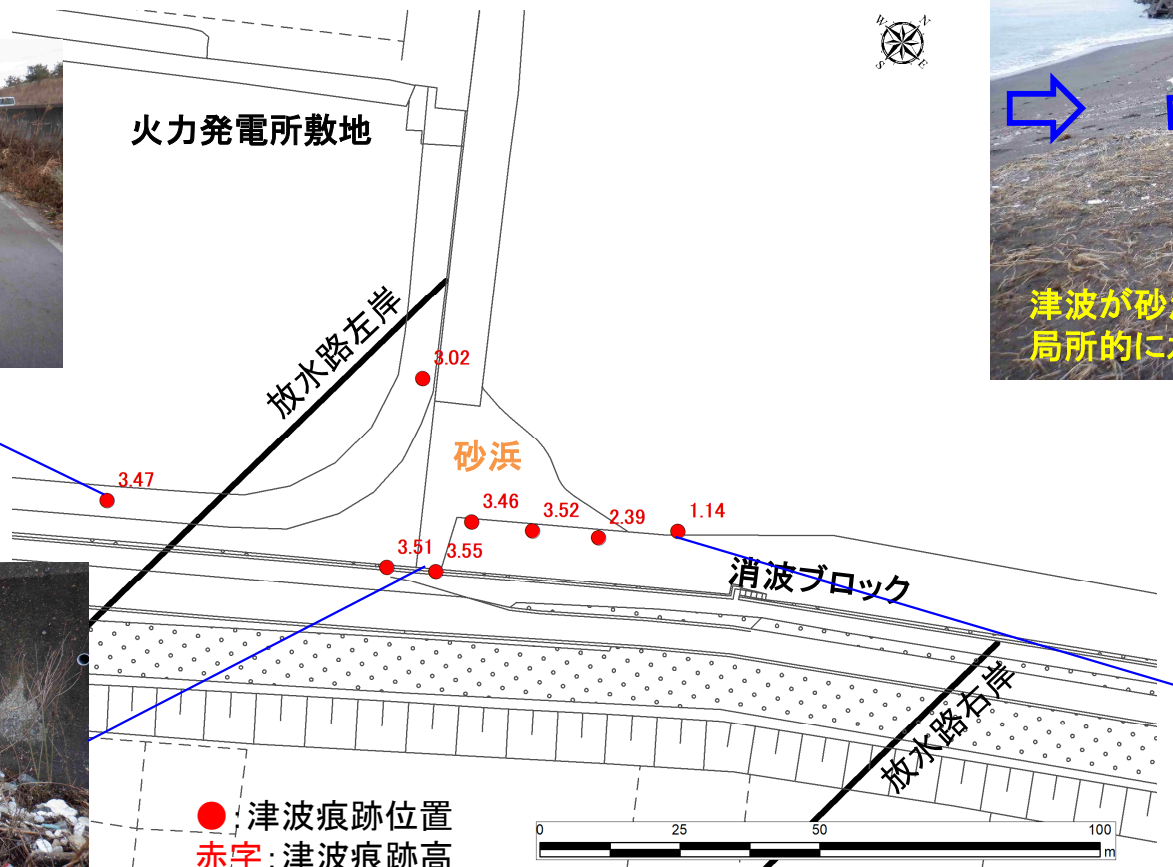
能登半島地震による津波 保倉川放水路河口予定地付近の状況

- 能登半島地震発生後に保倉川放水路河口部においても津波痕跡調査を実施（1/3にマーキング、1/15～17に測量）
- 放水路河口予定地では現在土砂の堆積により砂浜が形成されている範囲で、最高T.P. +3.55mの津波痕跡を確認。
- 砂浜部より海側の消波ブロック部における津波痕跡高は、T.P. +1.14mであり、津波が砂浜部を遡上したことにより標高T.P. +3.5m程度の砂浜上部に津波の先端部が到達したものと考えられる。

発電所道路部の痕跡高
T.P.+3.47m



砂浜上部の痕跡高
T.P.+3.55m



津波痕跡高 分布図



消波ブロック付近の痕跡高
T.P.+1.14m

